



万引き家族

第七号 平成30年10月1日 家族

是政祐和監督が、フランスの天才女優、カトリーヌ・ドナトーと組んで、作品を作るという。

是政監督は、「万引き家族」の制作中からあんなに楽しかった作品で、やはり、水戸黄門シリーズにしたものだ。

是政は、おは、是政監督に、お話ししたことがあつた。

宮本輝の作品「灯の光」だ。

江角マキ子さんのデビュー作で、夫を失った江角さんに、再婚をすすめる近所の妻もあつた。おは、その役だった。

原作者の宮本輝さんは、お内々に、いつか、リットルと云う小説だ。

大塚の「下町」で、おは、お話しした。

この作品は、おは、お話しした。お話しした。お話しした。お話しした。

一九九五年、二丁も、お話しした。

お話しした。お話しした。お話しした。お話しした。

家族

市川りょう

部内での生活に 之らおられた。

その時 杉竹梅のOMで 大抵おし たつ

たか 杉竹梅もその 竹筒着と 御眺まて

係りし 心不アケリした

その後 進も知らずいし 一と父にぞし

申し 家族の ありようを 一とにぞした

そのあとのい

その一 一と引きおき 一とカと又図解

映画屋を パルム トール 受帯とやり

文学道より 日本を 代表する 監督とつづ

た。

是持さんの映画作家としての一とが

家族で考へておられた一とだ。

社会への一とが 一と軍価値の 家族と

思ふ一と 最大の意味は 家族と 思ふ一と

いゝおは 家族の 絆を 信じた一と 是持さん

人は さあさあとの 道命を思ふ一と 一と

一と

現代 女性も 一とを 一と人 一と

一と 親の 束縛も 一とを 一と

私の時代は 内戦というものがあつた。

女のその 夜遊は 一とを 一と

一とと 男子も 一とを 一と

一とは いけな一とを 一とを 一と

一と今一とは 一とを 一とを 一と

スママヤハリス デラに 一とを 一と

あつた一とが 一とは 一とを 一と

一とを 一とを 一とを 一と

一とを 一とを 一とを 一と

一とを 一とを 一とを 一と

Blank grid area for page 3.

是枝裕和監督が フランスの大女優 カトリーヌ・ドヌーブと組んで 作品を作るという。

是枝さんは、「万引き家族」の制作中からあたためていた作品で やはり家族をテーマにしたものだ。

実は 私は 是枝作品に 出演したことがある。

宮本輝の作品「幻の光」だ。

江角マキ子さんのデビュー作で 夫を失った江角さんに 再婚をすすめる近所の世話やきの おばさんの役だった。

原作者の宮本輝さんは 市田さんに ぴったりだったと言ってくれた。

大阪の下町が舞台で、美しい作品だった。この作品が ベネチア国際映画祭に 出品されることになりあれよ あれよというまに私のベネチア行きが決った。

一九九五年 二十三年も 前のことだ。

初監督ながら この作品は コンペティション部門の出品作に えらばれた。

その頃 私は緑茶のCMで 大忙がし だったが 松竹梅もよしの 訪問着を 御誂えで作って ベネチア入りした。

その後 「誰も知らない」「そして父になる」など 家族の ありようを テーマにしたものが多い。

そして 「万引き家族」で カンヌ国際映画祭で、パルムドール受賞となり 文字通り 日本を代表する監督となった。

是枝さんの映画作家としての テーマが家族で 考えさせられるテーマだ。

社会の中の一番小さな単位が 家族だと思っているし 最大の味方は 家族と 思っている私は、家族の絆を信じたいが 是枝さんはさまざまな運命を見事に つむいでゆく。

現代女性も 仕事を 持つ人 が多くなって 親の束縛 も ゆるやかになった。

私の時代は 門限というものがあって、女の子の 夜遊びは ゆるされなかった。

それと 男子から 高価な贈り物も もらってはいけないと言われて育った。

さて今は ブランドもののバッグを クリスマスやバースデイに 送ってもらう人もあるようだが 親は娘の ライフスタイルもわからないことが多い。

なんて書いていると ちゃんと 自立してる女性がいること忘れないでと いわれそう。